

見て聞いて学ぶ紫式部の日

紫式部と南越前町

参加
無料

開催日 2024年9月29日(日)

会場 今庄住民センター(集合場所及び講演会・講談会会場)

【第1部】紫式部ゆかりの地巡りバスツアー

時間:午前8時45分~10時45分(受付午前8時30分~)

場所:今庄住民センター駐車場発着

内容:「ふくい歴女の会」会長で、コミック版日本の歴史「紫式部」の原作者である後藤ひろみ氏と、南越前町の紫式部ゆかりの地をバスで巡ります。

定員:40名(要申込み)



【第2部】後藤ひろみ氏 講演会

演題:「紫式部と南越前町 その人生とつながりをたどる」

時間:午前11時~12時

場所:今庄住民センター 大ホール

内容:「ふくい歴女の会」会長で、コミック版日本の歴史「紫式部」の原作者である後藤ひろみ氏による講演会を開催します。

定員:150名(要申込み)



【第3部】講談師 四代目玉田玉秀齋 講談会

演題:「紫式部が見た越前」

時間:午後1時30分~3時

場所:今庄住民センター 大ホール

内容:幕末に活躍した神道講釈師・玉田永教の流れを汲む玉田家の四代目玉秀齋による講談入門と講談会を開催します。

定員:150名(要申込み)



申込先 南越前町教育委員会 ☎0778-47-8005(紫式部ゆかりの地PR事業事務局)

申込締切 令和6年9月13日(金) 各部とも定員に達し次第締め切りとさせていただきます

切り取り線

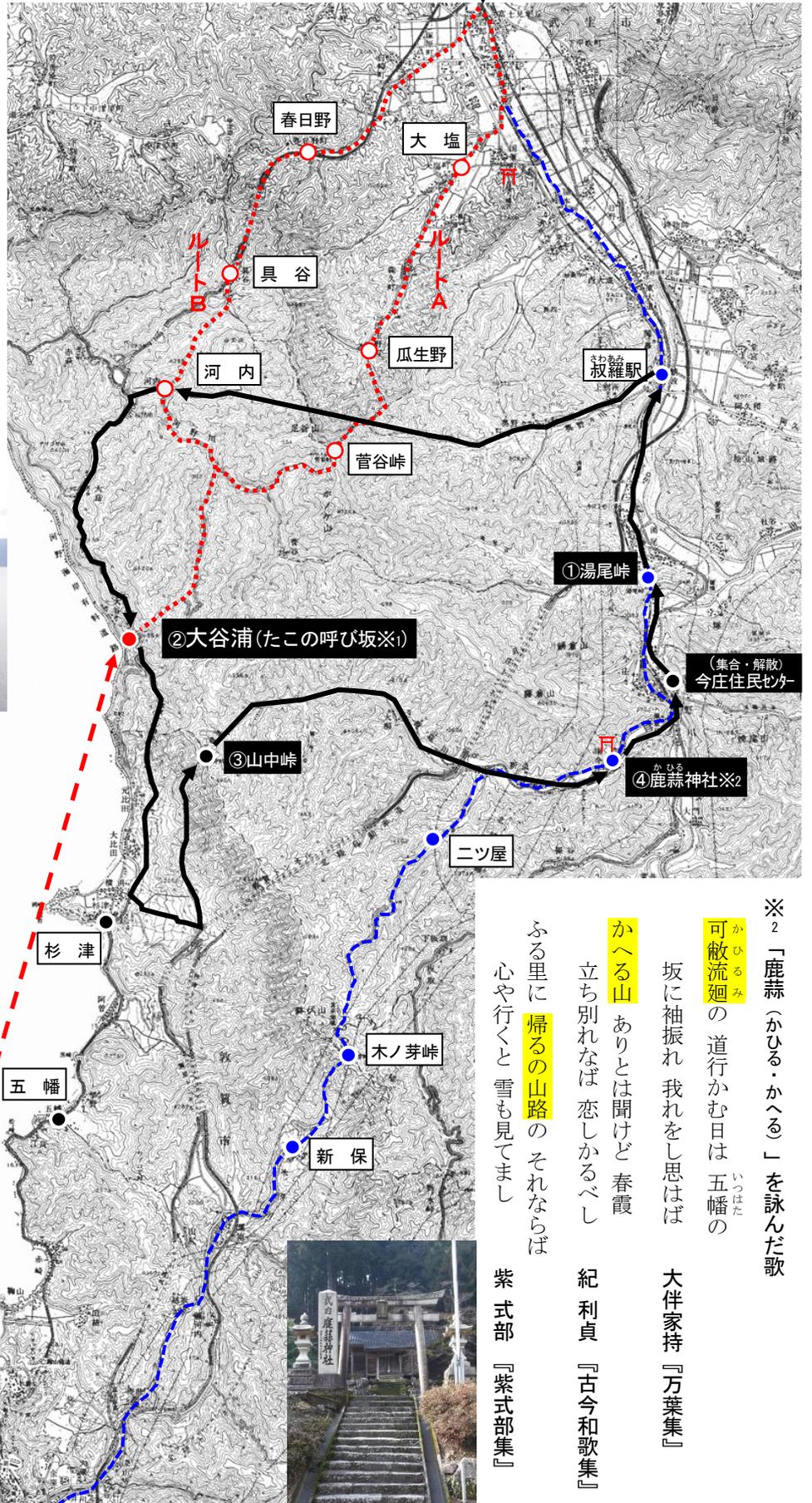
参加ご希望の箇所等を記入しお申し込みください(第1部・第2部・第3部のいずれかだけでもご参加できます)

チェック欄		お名前	
<input type="checkbox"/> 第1部 バスツアー(定員40名)		ご住所	
<input type="checkbox"/> 第2部 講演会(定員150名)			
<input type="checkbox"/> 第3部 講談会(定員150名)			
昼食の予約をご希望される方はご記入下さい	ご連絡先	()	—
そば定食 1,100円×__食	参加者数		人

→ **紫式部ゆかりの地巡りバスツアー予定地** 今庄住民センター ⇒ ①湯尾峠 ⇒ ②たこの呼び坂 ⇒ ③山中峠 ⇒ ④鹿蒜神社

--- 長徳2(996)年 越前国司の下向ルート(木ノ芽峠越えの北陸道)

--- 国府から敦賀までの推定ルート(国府→大谷浦→松原客館) ※3



※1 史跡「たこの呼び坂」(南越前町指定文化財)

紫式部は、長徳二(九九六)年、越前国司となって赴任した父の藤原為時とともに国府(越前市)で一年を過ごした。滞在中に大谷浦から敦賀(松原客館)に渡ったといわれ、『紫式部集』には大谷浦の地名(たこ坂、たこ谷)が登場する次の歌が掲載されている。

ましもなほ 遠方人に 声かはせ

おちかたひと

われ越しわぶる たこの呼坂

「たこの呼び坂」から敦賀方面を望む



※2 「鹿蒜(かひる・かへる)」を詠んだ歌
可敷流廻(かひるみ)の道行かむ日は 五幡の(いつはた)
坂に袖振れ 我をし思はば

かへる山 ありとは聞けど 春霞
立ち別れなば 恋しかるべし

ふる里に 帰るの山路の それならば
心や行くと 雪も見てまし

大伴家持 『万葉集』

紀利貞 『古今和歌集』

紫式部 『紫式部集』



鹿蒜神社

※3 増澤善和「源氏物語千年紀に寄せて」『広報 南えちぜん』2008年5月号をもとに作成